

**仙台市高齢者保健福祉計画  
策定のための実態調査報告書  
【高齢者一般調査】**

**令和8年3月**

**仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課**



---

# 目次

---

<b>第1章 調査の実施概要（高齢者一般調査）</b> .....	<b>1</b>
<b>1 調査の目的</b> .....	<b>3</b>
<b>2 調査概要</b> .....	<b>3</b>
<b>3 調査の回答状況</b> .....	<b>4</b>
<b>4 報告書の見方について</b> .....	<b>4</b>
<b>第2章 調査結果（高齢者一般調査）</b> .....	<b>5</b>
<b>1 調査対象者の属性について</b> .....	<b>7</b>
(1) 性別【SA】 .....	7
(2) 年齢【SA】 .....	8
(3) 要支援等の認定状況【SA】 .....	9
<b>2 家族構成や生活状況について</b> .....	<b>10</b>
(1) 家族構成【SA】 .....	10
(2) 介護・介助の必要性【SA】 .....	12
(3) 介護・介助が必要となった主な原因【MA】 .....	14
(4) 主な介護者・介助者【MA】 .....	16
(5) 経済的な暮らしの状況【SA】 .....	18
(6) 住まいの状況【SA】 .....	20
<b>3 からだを動かすことについて</b> .....	<b>22</b>
(1) 階段での手すり等の利用状況【SA】 .....	22
(2) 立ち上がりの動作【SA】 .....	23
(3) 歩行の状況【SA】 .....	24
(4) 転倒の経験【SA】 .....	25
(5) 転倒に対する不安【SA】 .....	26
(6) 週の外出頻度【SA】 .....	27
(7) 外出の目的【MA（3つまで）】 .....	28
(8) 外出頻度の変化【SA】 .....	29
<b>4 食べることについて</b> .....	<b>30</b>
(1) 身長・体重【NA】 .....	30
(2) 固いものの食べにくさ【SA】 .....	31

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況【SA】	32
(4) 誰かと食事をとる機会【SA】	33
<b>5 毎日の生活について</b>	<b>34</b>
(1) 物忘れの状況【SA】	34
(2) 外出の状況【SA】	35
(3) 食品・日用品の買物【SA】	36
(4) 食事の用意【SA】	37
(5) 請求書の支払い【SA】	38
(6) 預貯金の出し入れ【SA】	39
<b>6 地域での活動について</b>	<b>40</b>
(1) 会・グループへの参加頻度【SA】	40
(2) 今後の就労意向【SA】	51
(3) 今後、取り組んでみたい社会参加活動【MA】	52
(4) 地域活動へ参加者として参加する意向【SA】	54
(5) 地域活動へ企画・運営として参加する意向【SA】	55
(6) 参加したい通いの場【MA】	56
<b>7 たすけあいについて</b>	<b>57</b>
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人【MA】	57
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人【MA】	58
(3) 看病や世話をしてくれる人【MA】	59
(4) 看病や世話をしてあげる人【MA】	60
(5) 地域で安心して暮らすために必要だと思うこと【MA】	61
<b>8 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について</b>	<b>63</b>
(1) 高齢者を支援する仕事やボランティア活動への参加意向【SA】	63
(2) 高齢者を支援するボランティア活動の内容【MA】	64
<b>9 健康について</b>	<b>66</b>
(1) 健康状態【SA】	66
(2) 幸福度【SA】	68
(3) ゆううつ感【SA】	71
(4) 物事への興味関心【SA】	72

(5) 喫煙状況【SA】 .....	73
(6) 治療中、または後遺症のある病気【MA】 .....	74
<b>10 健康づくりについて .....</b>	<b>76</b>
(1) 健康づくりへの取り組み状況【SA】 .....	76
(2) 健康づくりの取り組み内容【MA】 .....	78
(3) フレイルの認知度【SA】 .....	80
(4) 今後、仙台市に力を入れて欲しい取り組み【MA】 .....	81
<b>11 認知症について .....</b>	<b>83</b>
(1) 認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状がある人の有無【SA】 .....	83
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度【SA】 .....	84
(3) 認知症に対するイメージ【SA】 .....	85
(4) 認知症になっても安心して生活するために必要なこと【MA（3つまで）】 .....	87
<b>12 在宅生活について .....</b>	<b>89</b>
(1) 在宅で暮らしていくために必要なこと【MA】 .....	89
<b>13 地域包括支援センターの利用について .....</b>	<b>92</b>
(1) 地域包括支援センターの認知度【SA】 .....	92
(2) 地域包括支援センターに期待すること【MA（3つまで）】 .....	95
<b>14 スマートフォン・パソコン等について .....</b>	<b>97</b>
(1) スマートフォン、パソコンの活用状況【MA】 .....	97
(2) スマートフォン、パソコンを一層活用するために必要なこと【MA】 .....	99
<b>15 高齢者福祉サービスについて .....</b>	<b>101</b>
(1) 今後利用してみたい（引き続き利用したい）高齢者福祉サービス【MA】 .....	101
<b>16 終活について .....</b>	<b>104</b>
(1) 終活の取り組み状況【SA】 .....	104
(2) 終活の内容【MA】 .....	105
<b>17 仙台市への意見・要望について .....</b>	<b>107</b>
(1) 仙台市への意見・要望について【FA】 .....	107

<b>第3章 生活機能評価等に関する分析（高齢者一般調査）</b> .....	<b>119</b>
<b>1 機能別リスク該当者割合の分析</b> .....	<b>121</b>
(1) 運動器機能 .....	121
(2) 閉じこもり .....	124
(3) 転倒 .....	126
(4) 低栄養 .....	128
(5) 認知機能 .....	131
(6) うつ .....	134
(7) 手段的自立度（IADL） .....	136
<b>資料編 使用した調査票（高齢者一般調査）</b> .....	<b>139</b>

# - 第 1 章 -

## 調査の実施概要（高齢者一般調査）



## 1 調査の目的

仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査（高齢者一般調査）は、65歳以上の高齢者の生活実態や、高齢者福祉サービスの利用動向及び今後の利用意向等を把握し、次期高齢者保健福祉計画（計画期間：令和9年度～令和11年度）の策定にあたっての基礎資料とすることを目的として実施しました。

## 2 調査概要

<b>調査対象者</b>	令和7年9月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有している一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者（約23万人）から調査区域（53か所）ごとに無作為抽出した方	11,700人
<b>調査方法</b>	郵送方法にて実施（調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送）	
<b>調査基準日</b>	令和7年11月1日	
<b>調査期間</b>	令和7年10月31日～11月26日	
<b>調査票の設問内容</b>	1 調査対象者の属性について	
	2 家族構成や生活状況について	
	3 からだを動かすことについて	
	4 食べることについて	
	5 毎日の生活について	
	6 地域での活動について	
	7 たすけあいについて	
	8 高齢者を支援する仕事やボランティア活動について	
	9 健康について	
	10 健康づくりについて	
	11 認知症について	
	12 在宅生活について	
	13 地域包括支援センターの利用について	
	14 スマートフォン・パソコン等について	
	15 高齢者福祉サービスについて	
	16 終活について	
	17 仙台市への意見・要望について	

※調査票は資料編に掲載しています。

### 3 調査の回答状況

調査票区分	配付数	有効回収数	有効回収率	集計対象数	集計対象率
高齢者保健福祉計画策定のための実態調査	11,700 人	8,870 人	75.8%	8,820 人	75.4%

※有効回収数とは、郵送による回答を収受した数で、そのうち調査ができない（「仙台市外に転居」「死亡」等）と回答した方を除いたものを集計対象数としています。なお、調査ができないと回答しながらも、問1以降の設問に回答があった場合は、有効回答とみなし、集計対象数に含めています。

### 4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) クロス集計は、無回答を除いているため、回答者数の合計が全体と一致しない場合があります。
- (5) 設問見出しに記載している「SA：単一回答」「MA：複数回答」「NA：数値記入」「FA：自由記述」は、各設問の回答形式を示しています。
- (6) 図表及び文章中では、選択肢の語句を一部省略している場合があります。
- (7) クロス集計の分析では、有意差がみられる結果に対して、本文中では言及しています。また、「n」が少数である場合、比率が変動しやすく、分析には適さないため、文章中では言及していない場合があります。なお、結果は参考値として示すにとどめている場合があります。